

箕面神経サナトリウム

(平成 23 年 6 月 16 日訪問)

平均在院日数 578 日(平成 23 年 6 月 30 日現在)

病院全体

部分的には天井が低くて暗く感じるところもあったが、全体的には改修によって明るくなり、廊下やデイルームは広がった。廊下には絵や写真が飾られていた。

外出・喫煙

外出は、A(院外外出可能)、B(売店や面会室まで)、C(病棟から出られない)の 3 段階。外出時には詰所で記帳をして外出カードを受取る。全館禁煙になったことについて、複数の患者から「吸いたいけれど閉鎖処遇なので我慢している」等の声があった。

金銭管理費・オムツ代等

管理料 150 円/日。デイルームに貴重品を入れるためのロッカー(1,000 円/月)があった。紙オムツ(テープ)1 袋 3,200 円、紙オムツ(パンツ)700~1,900 円。洗濯機と乾燥機は、カード使用で各 150 円。洗濯料金表の例: パンツ 50 円、タオル 30 円、バスタオル 200 円。

OT(作業療法)

曜日毎の午前と午後のプログラムとその内容が掲示されていた。個人プログラムの時間帯に院内散歩があったり、ホールや屋上を使ったり、園芸や病棟での集団 OT など様々な場所で多様なプログラムが実施されていた。OT 室には本棚があり、本を借りられる。

病棟の様子

看護師は水色、助手は白色、PSW は薄緑色の服を着ていた。デイルームのテーブルには、「食べるときはゆっくりよくかんで・・・」「今食べている食事が食べづらい等の方は職員に申し出てください」など書かれた紙が貼られていた。電話横には郵便物を投函するポストと意見箱があった。意見箱の用紙は詰所に言うのと紙をもらえる。理由は「同じことを書いて何度も入れる患者がいて、すぐに紙がなくなるため」。

病室

4 人部屋が中心で、1~3 人部屋もあった。ベッド周りにはカーテン、ロッカー、床頭台があった(ロッカーの鍵は個人で購入)。各部屋に荷物が少ないのは、院内に季節外の服などを置ける所(保管料は無料)があるためのような感じだ。入口扉に大きな窓があるが、目線の高さ以外は曇りガラスになっていた。外から施錠のできる個室(中央棟に 4 室)にはトイレとナースコールがあり、入院初期や拘束や隔離時に使うこともある。

隔離室(中央棟 3 階に 3 室、中央棟 4 階に 1 室)

壁も床も木目調で、日差しもあり明るい印象を受けた。トイレは仕切りがあり廊下からは見えない。水は中から流せる。食事用のテーブルにするための段ボールがある。詰所から離れているが、モニターカメラと集音マイクで詰所に声が届くとの説明。訪問時、3 階では全室が使用、床に布団を敷いて寝ていた。4 階ではベッドに拘束された患者が寝ていた。

トイレ

掃除は行き届いていたが、複数の病棟のトイレや廊下で尿臭が感じられた。和式トイレの扉の高さは約 160cm。個室の 1 つが使用中だったので前を通ることなど避けていたが、その扉の低さから、逆に患者が個室から頭を覗かせてこちらの様子を窺っている状況があった。洗面所は広く、手拭用ペーパーがあった。石鹸は、ある病棟とない病棟があった。

前回訪問(平成 20 年 3 月)から改善されていたことなど

- ・ 開放病棟が 1 つできていた。
- ・ 意見箱への回答(平成 23 年 6 月付)が掲示されていた。喫煙室でコーヒーが飲みたいという意見に対し、喫煙室は既に閉鎖、活用方法は未定との回答だった。
- ・ 前回の訪問時、「退院支援は主治医の役割だと思っていた」「退院の相談窓口として PSW を周知させる方向で検討したい」とのことだったが、今回の病院とのやり取りの際には「退院支援は主治医の役割、安全の判断が必要」とのお話だった。精神保健福祉士は 3 名で、「先生」と呼ぶ患者が多かった(この報告書では「PSW」と書く)。
- ・ 前回の訪問時、職員の名札を顔写真入りにする予定との話だったが、写真入りの名札ではなかった。上着やエプロンを着用した為に名札が隠れている職員が複数いた。

中央棟 2 階 閉鎖 男女 精神一般 53 床

患者は洗濯やテレビ鑑賞、デイルームで座って過ごしたり、病室で横になっていて静かだった。

患者の声

「30 年以上いる。仲のよい患者もいるし、職員もよくしてくれる。ただ、長く入院していると仲良くなった患者が転棟していく。病院全体のクリスマス会などで顔を合わす」「30 年以上いる。看護師は優しい。新聞をとっている」「入院して 3 ヶ月。そろそろ退院と思うのだが、診察時もそういう話しは出てこない。あんまり言って退院できなくなると嫌だから、黙って待っている」

中央棟 3 階 閉鎖 男性 精神一般 53 床

入院時の受け入れ病棟でもあり、転棟してくる患者もいて、出入りの多い病棟。浴室は太陽の光がよく入り広い。曜日毎に各病棟が使用している。外から施錠できる個室の患者が「開けて欲しい」と訴えていた。看護師「人の物をとる癖がある」、本人「早く退院したい。人の物をとってしまうので入院している」とのこと。

患者の声

「20年入院している、薬は部屋まで持って来てくれる、食事はおいしい、PSW はちょこっと喋るだけ」「99%満足。OT は書道に行っている。ロッカーの鍵はお金がかかるのもったいないからかけていない。買物は兄弟が来たら行く。お金のことは分からない。無駄遣いをしないと言われてる」「貴重品ロッカーは手続の仕方が分からない」「入院して3ヶ月。診察は2~3日に1回、10分程度。トイレが汚れていることが多い。掃除しているのか?」「シーツ交換は、自分でやる人と、そうでない人がいる」「病院近くに散髪に行っている」(看護師:「建物が古い。トイレの臭いが気になる。ウォシュレットでセンサー式の水洗だったらいいのに。やはり、雑菌・ウイルスが一番心配なので、石鹸の泡や湯が出て乾燥もできる洗面所なら安心だと思う」)

中央棟 4階 閉鎖 男性 精神一般 59床

外出先は、近辺や南棟の体育館に行く患者も多い。洗濯場では洗濯中の患者が楽しそうに話していた。

患者の声

「介護疲れで任意入院した。1ヶ月休むつもりだった。もう帰りたい。借家だから心配」「入院してから皮膚炎が広がった。シャワーを毎日使いたい。家の近所の歯医者にも行きたい。面会に来て欲しい」「食事はおいしい。ここは『住む場』。古くからいる方の指示を聞いて暮らしている」「母の言うままに洋服を着替えたなら、ここに来た。外の空気が吸いたい(40代)」「たばこはやめた。医療費も含めて最低3万円でここで暮らせる。4ヶ月目から安くなった」「午後7時に部屋に帰る人もいる。昼は外に出ている」「監査が来るからとのことで昨日は部屋の床掃除をした。この部屋は臭わんやろ? 監査前はトイレも洗面所もしっかり掃除がある」「お風呂を増やして欲しい」「お風呂はみんな並んで待たないとあかん」「居心地は良い。1日することがなく、テレビを見たり寝ているだけで退屈」「木曜日にお菓子をまとめて買いに行っている。外にはなかなか出られない」「(病院に対して)いいとも悪いともよう言わん」「洗濯カードを持っている。乾燥機はお金がかかるから、半乾きの洗濯物をベッドサイドに干す」「お金の管理料が1ヶ月にしたら4,800円もかかる」「月1,000円払って貴重品ロッカーを借りている」「今日は白服の助手より青服の職員が多い」、数日前に入院した患者が不満を言っていると、6年入院して退院後、再入院して1ヶ月の患

者が「そのうち慣れるわ」と励ましていた。

南棟

2階と3階はデイルーム以外に広いホール、4階には体育館があった。病棟から自由に行き来ができるが、訪問時は誰もいなかった。

南棟 2階 開放 男女 精神療養 60床

詰所内にある扉から外出するようになっていた。訪問時も敷地の外で喫煙した患者達が、詰所を通って病棟に帰って来ていた。半年分のSST(週1回)の予定が掲示されていた。第1週目は院内散歩等、第2・4週目がビデオ、第3・5週目が外出(散歩やスーパー等)。

患者の声

「自由に外出ができ、『すき家』で昼ご飯を食べたりするのが楽しい。でも毎日外食をするのはだめと決まっている」「外出は1ヶ月に1回。2~3時間行く」「グループホームはデイケアに行かないといけななどの決まりが大変だと他の患者から聞いたから断った。今の暮らしでいい(病院グループホームは15名が入居しており、5~6名は地域の授産施設等、残りの方がデイケアを利用)」「カップヌードルは小さいサイズしか食べてはいけなと決まりがある。破ると怒られる。このサイズは近所の店になく、院内売店で買う。」

南棟 3階 閉鎖 女性 精神療養 60床

午後3時半頃になると、何名もの患者が迎えの看護師と一緒にOTから戻ってきた。おやつが詰所管理の患者達がいっせいににおやつを受け取って食べていた。高齢の患者が多かった。

患者の声

「今日は中央棟4階の買物の日、テレビは監査があるのでつけない、SSTで外出する人だけ買物用に500円のお金を出せる」「『ライフ』に買物に行くのが楽しみ。何十年と自分に自信がない。退院して毎食後に薬を飲む自信がない」「年1回のバスツアー(8,000円)が楽しみ。和歌山や花博に行った」「30歳代で入院し、60歳代になった。元気なもんは2階(の病棟)に移る。私もいつかは移りたい」「月1回OTで外出できる」「昼寝は午後4時から5時までは許されている」「自分で洗濯すると安い。1ヶ月2,000円程。ベッドは窓と平行に同じ向きで、縦に4つ並んでいる。カーテンは足側の皆が通る方だけ開いている、両隣のベッドが見えないので気を使わなくていい」「16年前に退院してまたすぐ入院してそれからずっと入院中」「食事以外のときは自由に座っていいことになってるけど、名前が書いているので皆あまり座りたがらない。ソファに座る」「外出は週2回。『ドンキホーテ』などに行っている」「お金は毎日

1,000 円渡しをしてもらっている。残金はわからない」
「診察は詰所。ソファに何人か並んで待っている」

南棟 4 階 閉鎖 男性 精神療養 60 床

長期在院者や高齢者が多いようだった。ポータブルトイレの置かれている部屋が多かった。職員によると「OT、レクなど、できるだけ日中は起きて動いてもらうようにしている。寝ていることの多い患者と敷地内を散歩するようにしている」との説明だった。

患者の声

複数の患者から「外出したい」「外泊したい」「退院したい」との声があった。「ここはうるさいのがいっぱいいる。買物は 1 人で行ける」「冷たいものが飲めないのでみんなの冷蔵庫を置いて欲しい。浴室の脱衣場が狭い」「入院してから 1 度も家に帰ってない。両親にも会えなかった」「テレビが夜 9 時に切れる。野球の延長も見せて欲しい」「月 1 回、5 人くらいで『さと』に食事に行くのが楽しみ」「バスで『花鳥園』へ行った。また行きたい」

積極的な取組など

・ 相談室の入口の大きな貼り紙(どのようなことが相談できるのか)が見やすくて分かりやすかった。

検討していただきたい事項

ごみの回収

南棟 2 階ではラジオ体操が終わると、各部屋の患者が病室のごみ箱のごみをデイルームの大きな袋に出していた。職員が大きな袋を持ってくると、患者が列になってその袋にごみを入れていた。南棟 3 階では患者から「ラジオ体操が終わる 4 時頃に『ごみ回収です』とマイク放送があり、各部屋からごみ箱を各自が持つて出る」との声があった。(病院: ゴみの回収は病院の責任である。患者の中で、ゴミを捨てたい人にはそれが出来る方法も可能になっている。)

「院内散歩グループリスト」等について

各病棟のデイルームに全ての病棟の「院内散歩グループリスト」「料理グループリスト」が掲示されており、そのリストには参加する患者のフルネームが書かれていた。患者のプライバシーを保護するという点から問題ではないだろうか。(病院: プライバシー保護の観点から、ナースセンターの中に貼付する。)

面会室に職員が常駐すること

面会室の入口横に職員が常駐し、扉の開閉、面会が終わると病棟に患者の迎えを呼ぶ連絡をしていた。「家族が持ってきた差し入れを、喉につめたとき等に対応しないといけない、サービスです」との説明だった。

気兼ねすることなく面会できる環境を確保するためにも、職員がいない面会室の実現に向けて検討をお願いしたい。(病院: 安全管理の面からも検討します。)

電話の設置場所について

中央棟では詰所と廊下を隔てた所、南棟ではデイルーム内に緑の公衆電話があった。囲い等はなかった。中央棟 3 階では使用頻度は高そうだった。訪問時、患者が電話をかける近くに職員が立っていた。4 階では電話横のソファに座って電話をかける患者の姿が見られた。南棟 2 階ではテレビが真後ろにあり、テレビを見る患者が電話のすぐ横のテーブルに座っていた。テレビに近く、患者から「近くにあるテレビの音がうるさくて、使えない」との声があった。(病院: 環境確保のために電話の設置場所を変更したい。)

安心して使える洋式トイレに

和式トイレの個室は鍵付の扉だったが、洋式トイレは介助の際に便利ということで扉のかわりにカーテンがついていて、カーテンの端は止めることができなかった。そのため、患者から「使っている時に、開けられることもある」との声があった。(病院: プライバシーが保てるように改修を計画している。)

外から施錠できる個室内が丸見えだったことについて

個室の扉には大きな窓があり、それが透明なガラスであるため、廊下から室内が丸見えだった。(病院: 曇りガラスまたはガラスの間にブラインドが入る等の方法でプライバシーを守る方法を検討したい。)

ベッド周りのカーテンの使用

中央棟 4 階では、患者から「職員から『あまり部屋を暗くしないよう、カーテンはなるべく開けといて』と言われた。閉めると『ちょっと、開けとって下さいね』と声がかかるので開けておくしかない。1 人になりたい時に、このカーテンを閉められたらありがたい」「朝 6 時に、病室の扉が開く。それまでに着替えを済ませる。カーテンは使えない。昔からいる入院患者が、『カーテンをひくと部屋が暗い』と言うため、逆らえない(その方は窓際のベッドなのだが)」との声があった。病院側によると、カーテンを閉めるのは患者の自由とのことだったが、患者にはそれが周知されていないかもしれないので、周知させるようお願いしたい。(病院: 入院時オリエンテーションで、カーテン使用は自由であることを説明すること、病棟掲示板に開閉は自由であることを掲示することで患者に周知したい。)

自由に飲めるお茶を

多飲患者がいるため、デイルーム等には自由に飲めるお茶はなく、詰所に声をかけるともらえる。患者は「お茶は食後にやかんのお茶をペットボトルに入れる。早い者勝ち。喉が渴いたら洗面所の水を飲んでいる。」

病室には空のペットボトル数本にお茶を入れて置いている」等の声が聞かれた。(病院: ナースセンター前に自由にお茶を飲めるように準備する。)

職員の接遇についての研修を

患者に対して丁寧に接している職員もいて、患者からも「職員は優しい」という声がある一方で、言葉遣いや態度がきつい職員もいた。このような様子を日常的に目にしていたら、そのような言い方や態度をとる職員のことを怖いと感じるであろうし、言いたいことも言いにくくなるのではないだろうか。患者への接遇の研修を行うことを検討していただきたい。

訪問中に見聞きした職員の言葉遣いや態度

- ・ 看護師が患者を呼ぶときに「〇〇さん、そっちに行かんと! こっち来なさい!」と言っていた(南棟 2 階)。
 - ・ 患者が職員の手元にあった書類を触ろうとすると、その職員は「やめなさい!」と大きな声で怒鳴っていた(南棟 2 階)。
 - ・ 車椅子を使っている患者に届いた封書(行政からの封筒)を、職員が本人に断りなく、本人の膝の上からさっと取っていた。患者は取り返そうとするも、手が届かないのと、ろれつがまわりにくいのか、はっきりとした言葉は聞き取れなかったが文句のような声を出していた(南棟 2 階)。
 - ・ お茶をこぼした患者に対して、職員が「なにを汚いことをしてんの!」と怒鳴っていた(南棟 3 階)。
 - ・ 患者の声「看護師は優しい。コップの消毒もしてくれる。ベッドの上の布団などは、きちんと畳んでおかんと怒られる」(南棟 3 階)
- (病院: 毎年、看護目標に患者サービスの充実をあげて、接遇の改善に取り組んでいる。職員の接遇に関する意識の差は大きいので、病院として接遇研修を継続的に計画したい。封書については、異物混入が認められない限り、そのまま本人に手渡している。異物の混入があればスタッフが立会いのもとで本人に開封してもらい、危険物でないかの確認をしている。)

治療計画、退院支援について

患者から「主治医はよく話を聞いてくれる」との声がある一方で、「主治医はあまり話を聞いてくれない。治療計画書? 聞いたことももらったこともない。自分の悩みは自分で解決したい」「治療計画書? 見たことがない。あるのなら欲しい」「薬は何を飲んでいるか知らない」「退院したいですよ。でも診察の時、退院の話をして、いつもタイガースの話でごまかされる」「主治医には『変わりありませんか?』と聞かれるだけ。ずっと終わる。診察はそれだけ」との声があった。複数の患者から、治療計画書、PSW や相談室、グループホーム等の制度について「知らない」との声が聞かれた。

退院に向けた治療計画や相談窓口を、患者に伝えることを検討していただきたい。(病院: 任意入院の患

者様には全員に対して、退院希望の場合、医師・看護師などに相談することを勧めている。また、退院相談があれば医師・看護師・PSW が協力している。)

精神保健福祉士について

相談室の扉には、相談できる内容が分かりやすく掲示されていたが、患者からは PSW や相談室のことを「知らない」との声が多かった。この掲示の内容を、入院時の案内や病棟に掲示はできないのだろうか。

また、平成 22 年度の精神保健福祉資料によると、箕面神経サナトリウムでは在院期間が 5 年以上の患者が 56% で、大阪府内の精神科病院の中で最も高い。平均在院日数 578 日というのも全国や大阪の平均と比べてもとても長い。また、常勤精神保健福祉士は 3 名(2 名が外来や入院、病棟担当、1 名はグループホーム)で、平成 22 年度の精神保健福祉資料での「病床数÷常勤精神保健福祉士数」は 115 と、常勤精神保健福祉士 1 名当たりの病床数は府内で 2 番目に多い(平均は 48.7)。退院支援をすすめるためには精神保健福祉士の増員が必要なのではないだろうか。(病院: 掲示されている業務内容を入院時の案内や病棟に掲示するようにしたい。常勤精神保健福祉士は、増員をはかる。)

デイルームのテーブルの名前の掲示

デイルームのテーブルには、患者の名前が書かれたシールが貼られていた。一部はずされているところは、「患者がめくった」とのことだった。他院では、一部の患者に対して席を間違わないよう等の理由で名前が貼られていることもあるが、全員分貼られているところはなくなってきている。(病院: 全員を記載せず、必要な患者の姓を記載し貼るようにする。)

入浴の回数

前回の訪問時、夏場以外も入浴回数を週 3 回にすることを検討しているとのことだったが、現在も夏場以外は週 2 回だった。(病院: 週 3 回の入浴とする。)

おたずね

- 金銭を自己管理している患者は、病院全体で何名位でしょうか?(病院: 計 47 名(2011 年 10 月 3 日現在))

精神保健福祉資料より(平成 22.6.30 時点)
325 名の入院者のうち統合失調症群が 262 名(81%)、気分障害が 24 名(7%)、認知症など症状性を含む器質性精神障害 23 名(7%)。入院形態は任意入院 202 名(62%)、医療保護入院 123 名(38%)。在院期間は 1 年未満が 60 名(18%)、1 年以上 5 年未満が 83 名(26%)、5 年以上 10 年未満が 66 名(20%)、10 年以上 20 年未満が 56 名(17%)、20 年以上が 60 名(18%)。